

令和3年度第2回宮崎県立図書館協議会議事録

期 日	令和4年2月7日（月）午後2時から3時30分まで	
場 所	県立図書館2階研修ホール・読書振興室 ※オンライン開催	
出席者	委員	議長：根岸裕孝委員 委員：山下町子委員（副議長）、山崎俊一委員、 満園真由美委員、坂下実千代委員、 鳥越眞也委員、山下真一委員、 宮川央輝委員、小山美香委員 計9名
	生涯学習課	中村主幹、後藤社会教育主事
	図書館職員	岩本館長、甲斐副館長、 寺原総務・企画課長、日高情報提供課長、 原田総務担当副主幹、清家企画担当副主幹、 佐藤資料管理担当主幹、吉永普及支援担当主幹、 中竹郷土情報担当主幹、重山情報提供担当主幹
	傍聴者	なし
会 議 内 容	1 開 会 2 館長あいさつ 3 委員・職員紹介 4 日程説明 5 議 事 (1) 報告事項 ① 令和3年度の運営状況について ② 令和4年度の運営方針等について ③ その他：県立図書館ビジョンの改訂について 6 閉 会	
記録	総務・企画課	

1 報告事項説明

- (1) 令和3年度の運営状況について
- (2) 令和4年度の運営方針等について
- (3) その他：県立図書館ビジョンの改訂について

以上について事務局から説明を行い、次のような質疑応答・意見交換が行われた。

<令和3年度の運営状況等について>

【委員】

事務局説明にあったように九州・沖縄地区の図書館地区別研修が本年度は宮崎県立図書館で行われ、自分も受講者として参加した。コロナの状況もあり、途中からオンライン開催への運営変更等大変だったかと思うが、文部科学省の説明ほか、今後の図書館のあり方を考える上でも、とても良い研修内容であった。

【事務局】

もともと集合型とオンラインの併用で準備を進めていたが、開催月に入り急遽全面オンラインへ変更することとなったが、1年前と比べれば、講師側も受講者側も情報環境も整い、機器の操作などにも慣れていることが感じられた。研修内容は、アーカイブスや資料保存、電子書籍関連、医療情報サービス、ラーニング・コモンズについてなど取り上げたが、館の運営や、市町村図書館とともに、今後どのように振興を図っていくべきか、主催者側としても学びが多い内容であった。

【委員】

現アクションプラン評価項目のうち、ホームページのアクセス件数、SNSフォロワー数、貴重資料のデジタルアーカイブへのアクセス件数についてだが、本年度の12月末時の実績値が本年度の目標値にまだまだという数値にも関わらず、令和4年度の目標値は本年度よりもさらに高く設定してある。これは何か図書館システム等の改良等理由があつてのことか。

【事務局】

この目標値は昨年度現アクションプランを策定する際に設定した数値である。まず、ホームページのアクセス件数については、前アクションプランでは、原因不明の過剰なアクセスが見られる時期に目標値の設定を行っており、その後以前のアクセス件数に近い数値に戻ったため、それをもとに目標値を設定し直した。令和2年度末にシステム更新を行った際、ホームページのリニューアルを行い、情報の古いページは削除し、文字を大きくするなど内容は見直した。今後も徐々に内容を充実させるつもりで、目標値は伸ばしてある。

SNSのフォロワー数については、委員からも、県立図書館としては目標値が寂しいのではないかという趣旨のご意見もいただき、せめて県立図書館として、ここまでは伸ばそうという目標を立てた。

デジタルアーカイブのアクセス数については今回初めて目標値を設定した。もともと当館のデジタルアーカイブはこれまでアクセス数をカウントできない仕様で実績が分からなかったため、実験的に図書館のホームページのアクセスする方のうち、だいたい100人にお一人はデジタルアーカイブを見るという想定で、「3,000」という設定を行っていた。

しかし、設定後に当館のデジタルアーカイブはデジタルアーカイブのトップページで検索をしなければ、目的の画像を見つけられないことが分かった。最新のものは、検索エンジンで「〇〇絵巻」などで検索すれば、当館のデジタルアーカイブのその絵巻の画像に直接飛び、見ることができるが、当館の場合はそれができないため、アクセス数が伸びにくい。これは次期システム更新の際の課題として、現在できる範囲でアクセスを伸ばす努力をしたい。

【委員】

これまでの協議会で何度か出ていたホームページやSNSについての委員の意見を踏まえ、県立図書館内でそこにフォーカスし取り組むこととした点について評価する。

【委員】

紹介のあったブックピクニックについては、自分達の文庫活動などの中でも実施してみたい。

長年児童図書館員の養成に関わられた東京子ども図書館の松岡享子さんが亡くなった。現在自分は小中学校で読み聞かせ活動をしているが、本を読まなかった人が読み聞かせをすることによって自分でも本を読むようになった例、また、読み聞かせをしてもらうことにより、親になって自分が子供に読み聞かせをするようになったという例等を聞くと、子どものうちに児童サービスを楽しむ環境が読書活動推進にとって重要と実感するところである。児童図書館員の研修に取り組んでいただきたい。

【事務局】

当館に事務局がある県公共図書館連絡協議会では、年間を通し県内図書館（室）の職員を対象に研修を実施しているが、県内図書館（室）のアンケートでも児童サービスに関する研修実施の要望は多い。次年度も「児童サービス」に関する研修を実施する方向で考えている。

<令和4年度の運営方針等について>

【委員】

コロナウイルスにより、日常生活や図書館の事業等に影響が出始めてもう2年経過しようとしている。今回の令和4年度重点取組事項の事項5について、「感染症リスクやデジタル化に対応した図書館サービスの提供」とあるが、どのような方向に行くのか伺いたい。

【事務局】

感染症リスクの点では、閲覧室の出入り口の図書の持ち出しを感知するゲートは現在バーがある接触型であるが、非接触型のゲートにしようとしている。

その他には、現在貸出利用券の発行のために県民の方に手続きのため来館いただいているが、リモートでできないか検討を行っているところである。

それから、先般実施した九州・沖縄地区の図書館地区別研修でも講義があったが、「電子図書館サービス」について、今後先進事例の情報収集とともに、検討を行いたいと考えている。

【委員】

コロナウイルス感染症に対応し、この機会に県民、または利用者に良い方向でつなげてもらいたい。期待している。

【委員】

今の事項5については、感染症リスクに対する図書館サービスの提供方法について、県立図書館からはリアルタイムで県内図書館の対応に変更のある都度情報提供があり、一館だけで判断するには厳しい局面で、参考にすることができ、柔軟に対応することが可能となった。

また、図書館ではこれに限らず危機管理に係る事柄が発生することがある。先日私が勤務する図書館宛てに不審な文書が届いたことがあった。警察や自治体と連絡をとりつつ、県立図書館に相談したところ、他の館で同様の文書が届いていないか、短時間で情報収集、提供にあたってもらい、ネットワークの核である県立図書館の存在を感じた。次年度以降

も安心・安全な読書環境を支えるネットワークの核として、協力をお願いしたい。

【事務局】

市町村の図書館（室）の活動を支援するのが県立図書館の役割と考えている。今後も各館（室）の情報収集をはかり、情報提供に努め、情報を共有し合いながら本県の安心・安全な読書環境づくりに貢献できればと考えている。

【議長】

この件に関し他に御意見がなければ、本日発言していない委員で感想等をお願いしたい。

【委員】

今年度県立図書館で主催されたミシマ社の三島邦弘さんが講師として携わったイベントの運営に自分が所属する県立高等学校の生徒が関わった。終了後も時折この講演での経験を話題にするなど、生徒達にとっても社会参画及び生涯読書の面で色々実感し、いい経験ができたようである。

続いて令和4年度の運営方針「学校図書館の活用推進」についてだが、コロナの影響で難しかったかと思うが、本年度どのくらい訪問し、今後どのように学校図書館の活用を促していく予定か、また、マイラインサービスについても接続拡大するとあるが、今後の方向性について伺いたい。県立高等学校の図書館部会も周知等に活用できるのではないだろうか。

【事務局】

今年度県立学校を合計13校訪問している。既にマイラインサービスの接続を行っている学校も訪問したが、マイラインサービスの活用が体制的に厳しいという意見も聞いている。司書資格のない職員が学校図書館を担当したり、専任の職員がいなかったり、あるいは担当が替わりどのようにマイラインサービスを利用していいか実務が分からず、利用が無くなっているなど、運営上様々な課題がある。そのような学校には改めて利用方法について具体的な説明や助言を行ったところである。マイラインサービスを接続していない学校については、特に遠隔地の学校を訪問し、サービスの説明を行った。コロナウイルスの感染拡大のため、年度後半から訪問を実施し、現在1校から接続したいと回答を得ているが、他は返答を待っている状態である。（その後2校から新たに接続申し込みがあり、結果本年度は3校と接続できた。）

図書館部会の会などでお話する機会があれば活用したいと考えている。今後も、学校訪問等により丁寧に意見の収集や助言等を行いたい。また、学校図書館を活用した参考になる事例等についても収集し、学校間で共有できるようにしたい。

【委員】

これまでSNSを通じた情報発信をお願いしてきた。来年度の運営方針の重点取組事項の6に「情報資源や各種サービスなど図書館情報の効果的な発信」とあり、期待しているところである。

自分も現在SNSで県立図書館をフォローし「いいね」を押したりしているが、例えば絵本に関する投稿が始まったと思うと途絶えたり、情報の出し方がばらばらで、投稿内容のテンションに高低差がある。行政内の情報の出し方は難しいかもしれないが、例えば今農林水産省のYouTubeチャンネルでBUZZMAFFというのがあるが、BUZZMAFFのように、面白くハメを外した発信をしてもらいたい。農林水産省は中間決裁無しの大蔵直轄で行っている。意欲のある本の大好きな職員がいると思う。意欲のある職員に発信してもらいたい。

図書館の展示はこの一年で非常に充実したと感じる。一方、それにしてもSNSでの情報発信が弱い。今の時代SNSが情報発信の窓口、図書館の顔になっている。組織改革も含め、来年度の情報発信の方法について考えていただきたい。

【事務局】

SNSの投稿については、館内の職員が投稿しやすくするために、昨年度後半、館内の決裁方法を大幅に見直し緩め、内容についてもより幅広いテーマの投稿を呼びかけるなど、改善の努力はしてきた。

展示が充実する一方で、展示についてのSNS上での情報発信不足については、展示の頻度が増え、展示内容の充実を図るほどに、その準備と維持に時間がとられ、情報発信のためのコンテンツをつくる時間が不足した面もある。その点については反省している。

【事務局】

図書館が事業の拡大や充実を図るためには、予算、人材などいろいろなハードルがる。それらを克服していくためには、まずは県立図書館が何をしているか、県民の方に身近に知っていただくのが最初の一步と考え、次年度の重点取組に情報発信について入れたところである。新しい情報ツールも活用しながら、職員が情報を発信していくという意識づけを図りながら、一歩ずつ取組を始めたところである。

【委員】

直近で面白かったSNSの投稿内容が、図書館の裏方の仕事の内容、特別整理期間の地味な作業風景で、「いいね」の数も多い。何がバズるか分からない。どんな仕事でも、自分達のことをまず知ってもらう必要がある。最初から面白いものができるとは思っていないが、自信を持って発信し続け、体験しながら情報発信の成長を図ってほしい。

【委員】

これまで図書館が養成した語り部の集大成となるような活躍の場があったり、県立高等学校や県立美術館、市町村立図書館（室）との連携も図られており、充実した取組がされているという印象を持った。

今年度小中学校では児童・生徒に一人一台タブレットが整備され、子ども達は大人の想像以上にタブレットを使いこなしている。中でも県総合博物館のホームページを子ども達はよく見ている。動画コンテンツがたくさんあったり、VR体験ができたり、企画展の発信がよくあり、それを子ども達はよく分かっており、よくアクセスしている。

博物館と同じように県立図書館でできないかと考える。レファレンスをオンラインでできたり、おはなし会がコロナ禍でできないとき、語り部の語りの動画で見ることができたり、子ども達が来館しなくてもアクセスできるとサービスの向上につながるのではないかな。

【議長】

やはりこれからはオンラインだろう。小学生もタブレットを持っている時代、対応していくことが求めているだろう。

【委員】

二点確認したい。まず事務局の資料に令和4年度の目標値が出ているが、コロナ禍の中、厳しいのではないかなと思う。見直すつもりはないのか。

もう一点は令和4年度の運営方針に「市町村立図書館訪問支援」とあるが、コロナ禍において訪問は難しいのではないかな。

【事務局】

アクションプラン（令和3年度～令和5年度）の目標値であり、本来見直しは行わないが、後で説明する県立図書館ビジョン改定に伴い、アクションプランの目標値も見直すことになるか考える。

【事務局】

当館に事務局がある県公共図書館連絡協議会ではアドバイザー派遣という事業を行っており、要望に応じ市町村立図書館（室）を訪問し、テーマ毎に支援、助言をしているが、今後は内容によってはオンラインで実施するという事も選択肢として考えておきたい。

<その他：県立図書館ビジョンの改定について>

【委員】

改訂に賛同する。ビジョンの期間の10年というのは今の時代長い。地方財政の状況変化、地球温暖化等、新しい価値観今行政における10年計画というのはなかなか難しい時代になっていると考える。図書館の根幹的な役割は変わらないとは思いますが、変化に耐える施策運営が大事だと考える。

【事務局】

変化の激しい中、図書館の役割はますます重要になってきていると感じている。地域の情報の砦であるということで、しっかりと展望も持ちながら、図書館の役割を果たしていきたい。